

# 業務の新聞

第77号

2021年 4月 21日

## 変じゃないですか？

「ラストランは、ホームでの出迎えには行かないように！」と職場管理者が数日前から“やたら積極的に”話しかけていました。“なんでかな～？”と聞いてみれば「密になるから」「新型コロナ感染予防策だから」と一生懸命に応えてくれました。また、ラストラン当日は列車到着時間にホームに職場管理者の方々が『出迎え？』『監視？』に何人も姿を見せしていました。

新型コロナウイルス感染予防は、重要課題です。ラストランは、会社経営に影響を及ぼすのでしょうか？家族の前で『監視？』まで変じやないですか？ラストランは「悪」ですか？

「先輩」は「いろいろな制約があるがこの職場を盛り上げてください」と私たちに話してくれました。忘れません！職場から頑張ります！

## 感染予防！

新型コロナウイルスの猛威は2年を経ても衰えを見せません、変異ウィルスの脅威も加わり何度もかの緊急事態宣言発出が目前と言われています。

マスク配布、手洗い石鹼設置、除菌抗菌剤設置、寝具交換等、車内・詰所換気等々この間、会社施策として展開をしてきました。今も誰もが経験のない状況にあります。

ここで考えてみませんか？

『何のために』『誰のために』『どのように』この施策が企画・運用・実施されているかということを！自身と家族そして仲間たち、お客様の命を守るために、今何が必要なのか？絵に描いた餅はいりません。『ご自愛ください！』

## 3月ダイヤ改正

3月ダイヤ改正から1ヶ月が経過しました。皆さんの業務は順調に推移していますか？気がかりや疑問点・問題点はありませんか？地本は、皆さんの声を基にダイヤ改正検証を行い、より良い職場とより良い会社を創造するために取り組みを進めます。

列車の折り返し時間で“清掃”をしたり、「タッチでエキナカ」や「新JREポイント」がスタートしたり、「ATO」が導入されたり、ホームドア設置が進んだりなど様々なことが“変わりました。”

コロナ禍で日々のご利用状況は芳しくありません。この状況が“ニュートレンド”だとするならば私たちの業務も“新たなモノ”として考えて行かなければなりません。

労働条件・労働環境をシッカリ考えましょう！

## 思いつくままに

JR東日本は、多くのグループ会社とその会社に働く方々に支えられています。

グループ会社の中には“業績良好”でボーナスUPを実現した会社もあります。

では、グループ会社で働く労働者の労働条件・労働環境はどの様な状況にあるのでしょうか？

「グループ会社総体で～」と聞きます。ならば、労働条件や労働環境に関しても「グループ会社総体で～」より良い方向に向かうようにしなければならないと考えます。

“上意下達”“忖度”などJR東日本とグループ会社には無用なモノだと考えます。より良い職場とより良い会社を創造するために、私たちが諦めや沈黙をNGにして、もうひと頑張りしましょう！